

専門サービス部会長報告

1. 会議名 第1回専門サービス部会（オープン部会）
2. 日時 2025年5月21日（水）13:30～15:00
3. 場所 秋田商工会議所7階 ホール80
4. 出席者 部会員等23名（当部会員8名）
5. 懇談

テーマ「アウトソーシングによる業務効率化」

ゲスト (株)日本テクノス ソリューション事業本部
アウトソーシング事業部

部長 林 匡美 氏

(株)テクノス秋田

管理部 シニアマネージャ 浅石 宏明 氏

■アウトソーシングサービスとは？

アウトソーシングとは、企業や組織が**自社の業務の一部または全てを外部の専門業者に委託するサービス**。

具体的には、業務を外部に委託することで、**人件費や設備費のコスト削減、専門知識やノウハウの活用、業務効率化などが期待**できる。



左：林氏 右：浅石氏

■アウトソーシング導入のメリット

①外部委託に伴い、現在の業務フローや共通手順書の作成により課題の発見や改善が必要な部分の把握が可能。

②単純作業をアウトソースすることで、社員が本来やるべき業務に集中できる。

③社員の休職、退職や異動に伴うノウハウの損失、新規雇用に伴う経費等を最小限にできる。

④複数部署から業務を委託することで、会社全体として重複している業務や統合できる業務の提案を受けることができる。



「業務効率化」「人材不足」「業務の属人化防止」「コスト削減」
など、**企業の課題解決に活用**されている。

■ 導入事例紹介

事例① EXCEL⇒クラウドによる業務効率化

導入前	導入後
・ 知らないうちにデータが更新されている。 ・ 何度も同じデータを手入力。 ・ 関数が壊れて直せない。 ・ ファイルが重く開けない。 ・ 同じタイミングで修正できない。	 ・ 在宅勤務等どこからでもログイン可能。 ・ 自動的にデータ連携を行うことでミス削減。 ・ リアルタイムでの更新可能。 ・ アクセス権の制御による上書禁止。 ・ データの一元化

事例② アウトソーシング活用による業務効率化

導入前	導入後
・ 人材が不足している。 ・ 特定の人しかその業務を知らない。 ・ 必要のないデータを作成している。 ・ ファイルが重く開けない。 ・ 毎月膨大なデータを手作業で修正している。	 ・ 委託先との業務共有により自社の負担減。 ・ 手順書の作成による属人化からの脱却。 ・ 他社の目線を入れることによる改善の切っ掛けとミス防止の「気づき」。

■導入事例紹介

事例③ RPA活用による月末請求書印刷自動化

導入前	導入後
・ 1日500枚の印刷を2名で5日間。	・ 印刷作業の自動化により作業効率が向上。 ・ 請求書発行時期の残業を削減。

事例④ RPA活用による納品伝票のシステム入力自動化

導入前	導入後
・ 1日100枚の伝票を担当者2名で入力。 ・ 繁忙期はこの5倍。入力作業のためアルバイトを3名雇用し、計5名で対応。	・ 通常月は1名（さらに他業務も兼務） ・ 繁忙期でも2名で対応可能となった。

事例⑤ RPA活用による顧客向け集計作業の自動化

導入前	導入後
・ 100社以上の顧客データ集計、メール配信を毎月末に10名で実施。	・ 2名で対応可能となり、集計ミスも減少し、顧客満足度が向上。

■まとめ

アウトソーシングやRPAの活用は、人手不足という課題の解決のみならず、手順書作成による業務の見直しやミスの削減など多くのメリットがある。この機会に是非ご検討いただきたい。